



## United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

**カトマンズの寺子屋を訪ねて**

 文部科学省日本ユネスコ国内委員会委員  
 開倫ユネスコ協会事務局長 高尾 初江

飛行機の窓から見るヒマラヤの山々は、神秘的で光の中に白く輝いて、手前に広がるカトマンズの町並みは、盆地で地盤も軟弱なため土埃も漂っている様に見えました。

2017年12月6日、カトマンズのラリットプル郡のクムヘスワール寺子屋と、シンディプール寺子屋を訪ねる機会に恵まれました。カトマンズ市内から車で、約30分、舗装の無い道路は凸凹で、車は土煙を上げて走ります。その傍らでは、2015年の4月の地震で崩れた瓦礫を整理する地区の人々が黙々と作業をしていました。両側の建物は、レンガを土壁で固めたものが多く傾いたままであったり枠だけの窓であったり崩れた玄関であったりと、地震の爪痕が其処かしこに残っていました。歴史的建造物もほとんど倒壊し復興中でした。

寺子屋を運営している責任者に聞きました。寺子屋にくるのは、女性の方や子ども達がほとんどで、貧しい事。女性の自立を支援してくれるユネスコや団体があるから学習が出来る事。だから、年齢や性別に関係なく自信をもって自分の意見を話すことが出来るようになった事。女性も家から出て学習することが出来るようになった事。人のために役立つことはないかと考えることが出来るようになった事。また、生計を成り立たせる術を学んだお蔭で、生活が変わって行く様子もお聞きしました。自立するために自分でできる生計の事や、もっと文字を学んで、これから自分の夢や希望をかなえたい。また、外国にも行って学びたい事など沢山の事を話してくれました。

とはいうものの、まだまだ女性の地位は認められていないことが多く、日本ユネスコ協会連盟が、このような地域に根ざした活動をしてくださったお蔭で、この寺子屋で、学んだ多くの人々が、未来の自分を築く原動力となっていることを見聞きし大変感動しました。

今後、援助に頼るばかりでなく自分たちの手でこの輪を広げていこうと模索をしている姿も見えました。これからの自主自律の活動がさらに広がっていくことを期待しているところです。



クムヘスワール寺子屋にて



クムヘスワール寺子屋外観



シンディプール寺子屋



歴史的建造物『パタンダルワルスクワ寺院』(復興中)

今、世界はESDをもとにSDGs達成目標17項目を決めました。日本では、ピコ太郎の動画がユーチューブで流れています。

SDGsのパフレット(右下)カトマンズの国内線乗り場にある移動バスの側面(左下)にSDGsの広告が書かれていました。



ポカラの湖のなかにあるタルビラヒ寺院



移動中のバスの広告

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**  
17 GOALS TO TRANSFORM OUR WORLD



SDGs17項目